

平成28年度「大学開放事業」実施報告書

事業の名称	フィールドセンター開放事業（木花フィールド・住吉フィールド）
-------	--------------------------------

代表者 (所属・氏名)	農学部附属フィールド科学教育研究センター センター長 西脇 亜也
----------------	-------------------------------------

1. 来場者数：

①木花フィールド【11月19日： 800 人】

②住吉フィールド【12月10日： 1, 600人】

合計 2, 400人

2. 事業実施の成果（なお、写真の添付も可能です。）

①フィールドセンター開放（木花フィールド）

11月19日（土）、フィールドセンター開放（木花フィールド）を行った。

日頃からフィールドセンターにご理解・ご協力いただいている地域の方への御礼の意味も込めた開放事業となるよう、各フィールドセンターのスタッフが一丸となり販売物収穫や袋詰めの手前準備を進めていたが、当日は晴天の予報だったため屋外で農産物販売や収穫体験タッチプールなどを行った。入場者数も800人と昨年より多少だが多くなった。木花フィールドの農産物・花苗販売、住吉フィールドの牛乳販売、田野フィールドの椎茸・木工品販売、延岡フィールドの金魚販売は、販売前から並んでいるため、午前中に完売となったものもあった。野菜の品目によっては台風等の影響で十分な販売量が確保出来なかったこともあり、品目及び収穫量は今後も重要な課題と考える。

例年行っている体験イベントは、「収穫体験」、「バター・ポップコーン作り体験」、「椎茸駒打ち体験」、「木工体験・丸太切り体験」、「魚とのふれあいタッチプール」など、各フィールドの特徴をだした体験イベントは行うことができた。

今年はポップコーン作り体験の回数を増やし、新たに魚の透明標本、星の砂キットの販売を行い、地域の親子連れにも大変好評であった。

今年度の改善点などを踏まえ、より一層発展させたフィールド開放となるように今後も努力していきたい。

「農産物販売」



「収穫体験」



「魚の透明標本販売」



「木工体験」



「バター・ポップコーン作り体験」



「花苗販売」



②フィールドセンター開放(住吉フィールド)

12月10日(土)、フィールドセンター開放(住吉フィールド)を行った。今回で10回目を迎えたフィールドセンター開放も木曜日までの豪雨も止み、前日の準備も当日も天候に恵まれたこともあり、約1600名の来場があった。本事業が地域の皆様に根付き楽しみにされていることを実感する。

当日は住吉フィールドで開催することにより家畜防疫の観点から防疫対策(消毒マット、手洗い場の設置、石灰散布、衛生管理区域の設定など)をしっかりと行った。また、日頃からフィールドセンターにご理解・ご協力いただいている地域の方への御礼の意味も込めた開放事業となるようスタッフ一丸となって取り組んだ。

フィールドセンターの教育・研究の成果として「宮崎大学 Milk」の販売及び木花・田野・延岡フィールドの野菜や魚の透明標本などの農林水産物等の販売を行った。開催前からの問い合わせも多く、大変盛況であった。農林産物等の販売については以前から売り切れてしまうものも多く混雑することから、販売方法の検討・実施を行い、今後も販売方法については検討したい。

体験イベントでは、「バター・ポップコーン作り体験」、「仔牛の心音体験」、「トラクター試乗体験」など、住吉フィールド(牧場)を地域の皆様に理解していただくイベントの他に、「椎茸駒打ち体験」、「魚とのふれあいタッチプール」、「お絵かきロール」、「木と触れて遊ぼう」、「クリスマスリース作り」など多くのコーナーを設けることができ子供や親子連れにも大変好評であった。「トラクター試乗体験」では終了時間の3時を超えても多くの人が並ばれてとても大盛況であった。

また、新たな試みとして豚の試食、学生の授業の一環としての豚の加工品の試食、クリスマスリース作りを行った。

宮崎大学のマスコットである「みやだいもうくん」の参加もあり、小さい子供たちが後をついて回るなど大変人気であった。

今後も「地域に馴染み・親しみのある大学」を目指し地域の方により知っていただけるよう充実したイベントを企画・運営・継続していきたい。



「魚とのふれあいタッチプール」



「仔牛との触れ合い」



「椎茸駒打ち体験」



「トラクター試乗体験」



「お絵かきロール」



「牛乳販売」



「農産物販売」



「豚肉・豚加工品の試食」